

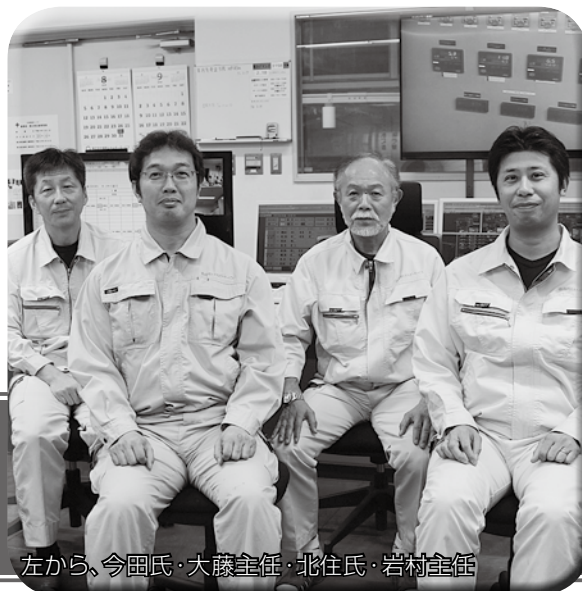
熱のVoice ②

エキスパートチーム編

株式会社福岡エネルギーサービス
熱供給部

天神熱源センター

※センターを代表して大藤辰也氏にインタビュー



左から、今田氏・大藤主任・北住氏・岩村主任

「お客さまの声を聞く機会を大事にし、 快適な温度環境の創出に努める熱源センター業務」

所属する部署の主な業務目標および内容を教えてください。

大藤 弊社はシーサイドももち、西鉄福岡駅再開発（天神）、下川端再開発の3地域に熱供給を実施しており、私たちは天神地域を担当しています。

天神地域は九州屈指の商業地域で、弊社は天神熱源センターから、デパートや地下街、交通機関等の6施設に冷水・温水の熱供給を行なっています。冷水・温水は常に基準温度の±1℃以内で供給できるよう厳格な運転監視と、設備が健全な状態を保つための保守管理を行なっております。

目的を達成するために心掛けていることなどを教えてください。

大藤 設備の保守管理におきましては、過去の補修実績や他地域のトラブル事例等を参考に整備計画を立案、予算化して実施しています。また、設備不具合の早期発見のために毎日のパトロール、運転データの分析を



運転管理業務を行なう大藤氏

行なっています。

熱源センターが入居しているビルのテナント会議には必ず出席し、イベントなどの情報や警備に関する情報など熱負荷に関わる情報の入手には、特に気を付けています。また、ビルの防災訓練にも積極的に関わるようにし、エネルギー以外の面でも、お客さまの安全第一を常に心掛けています。

お仕事の喜び、やりがいを教えてください。

大藤 職場である熱源センターも地下3階にあり、一般の方には認知されにくい裏方的な仕事ではありますが、お客さまが快適に過ごされてい

る様子を見ることは一つのやりがいでもあります。そのためにも、お客さまが集客イベントなど開催される際には、熱需要の変動が大きくなるので、事前にお客さまと打合せを行ない、特に温度管理に気を付けて、快適性の確保に努めています。

今後の目標をお聞かせ下さい。

大藤 地域熱供給はエネルギー効率を高め、環境に配慮されたシステムです。今後、天神エリアで進む再開発にも繋げられたらと思います。

また、九電グループの一員として、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを図りながら、今後とも安定した、そして品質の良い熱供給で、地域社会に貢献できればと思います。

大藤辰也氏 (Oto Tatsuya) 略歴

平成7年入社。ももち熱源センターをはじめ運転管理部門に15年、本社管理部門に6年。趣味は、真夏に行なう日焼けするゴルフ(笑)と、熱源機器を恋人のようにやさしく扱うことです(大笑)。これが、安全・無災害の第一歩です(恐縮・汗)。

(取材：松田 浩嗣 広報委員)